

# 議会だより 志賀町

第6号

〒925-0198

石川県羽咋郡志賀町末吉千古1番地1

TEL (0767)32-1111

FAX (0767)32-3933

発行 志賀町議会

編集 議会広報特別委員会

平成19年2月1日発行

さわやかで健やかな新年になりますように



## 堀松保育園の皆さん

新しい年を迎え、堀松保育園では全園児(14人)で「おめでとう集会」を行いました。

自分で作った凧やかると、すごろく、福笑いなどの伝承遊びで楽しいひとときを過ごしました。

12月定例会 <b>総合計画基本構想を策定</b> .....	ページ <b>2</b>
更なる福祉向上を目指して <b>決算審査報告</b> .....	<b>4</b>
<b>来年度予算の重点課題は</b> ..... (一般質問)	<b>11</b>

\*議会へのご意見、議会だよりのご感想をお寄せ下さい (E-メール:gikai@town.shika.lg.jp)

\*町と議会の情報は「志賀町ホームページ」でご確認下さい (http://www.town.shika.lg.jp)

夢・未来の創造 笑顔あふれる能登ふれあいの郷

# 総合計画基本構想を策定



夢に向かって前進する新成人に  
心からエール

1月8日に行われた志賀町成人式で、立志式に自分宛てに書いた「未来への手紙」を手にする新成人(能登ロイヤルホテル)

12月定例会は、4日から15日までの12日間の会期で開かれました。

第1次町総合計画基本構想をはじめ18年度補正予算など議案16件、継続審査としていた17年度の各会計決算の認定11件を審議し、それぞれ全会一致で可決・認定しました。

## 補正予算

### ◇一般会計

県議会議員選挙費、県後期高齢者医療広域連合設立のための分担金、乳幼児・児童医療費助成、集落営農育成確保緊急整備支援事業、韓国交流促進ミッション事業負担金、外灯管理修繕、除雪関係経費、町道改良舗装等の増額。民間保育所入所委

### ◇国民健康保険会計

1億3千400万円増額、総額26億4千802万円。保険給付費等を増額。

### ◇農業集落排水会計

増減額なし、総額7億475万円。地方債利子の不足額を事業費と組み替え。

### ◇公共下水道会計

362万円減額、総額13億8千80万円。事業精算見込み及び公債費の組替え。

### ◇地域し尿処理会計

増減額なし、総額8千589万円。地方債利子の不足額を事業費と組み替え。

### ◇介護保険会計

\*サービス事業勘定623万円減額、総額2千183万円。看護師の配置替えによる人件費の減額。

### ◇町立診療所事業会計

1千456万円増額、総額1億332万円。内科診療において医薬材料費等の不足見込み。

### ◇簡易水道事業会計

168万円増額、総額2千470万円。ふるさと農道新設に伴う水道管移設工事費。

### ◇町立富来病院事業会計

・収益的支出1千102万円増額、総額15億3千248万円。CTスキャナー修繕費。(以上9件・全員賛成)

## 条例の制定と改正

### ◇農業集落排水施設条例

大笹処理区における処理場、大笹、牛ヶ首の一部、猪ノ谷の工事の完成・供用開始に伴い区域を追加。(全員賛成)

## ◆人事

産業建設常任委員長に

戸坂 忠寸 計議員

議会運営委員に

小田 芳治 議員

角花進議員のご逝去に伴い欠員となっていた産業建設常任委員長に、戸坂忠寸議員が互選され、議会運営委員に小田芳治議員が選任されました。

# 現代社会への様々な課題に対して取り組み 総合計画基本構想決まる

少子高齢化、地方分権、高度情報化社会、環境保全、地域産業の再構築、多様な住民ニーズへの対応といった現代社会の様々な課題に対して積極的に取り組むため、今後10年間のまちづくりを想定して策定されました。



## まちづくりの基本理念

「夢・未来の創造 笑顔あふれる能登ふれあいの郷」

## サブテーマ

「私たちが主役の新志賀町物語」

## まちづくりの基本方針

**やすらぎのまち**  
安心して健康に暮らせる体制を強化します

**いきおいのまち**  
活気と賑わいのある産業を振興します

**うるおいのまち**  
快適で安全な生活環境を創造します

**かがやきのまち**  
創造的な人と地域文化を育てます

## ふれあいのまち

交流と協働で元気なまちづくりを進めます

## みらいへのまち

健全で開かれた行財政運営を行います

## 基本目標 (平成28年)

目標人口 2万1千人  
世帯数 7千700世帯  
年齢階層別人口  
・年少人口 2千200人  
・生産年齢人口 1万400人  
・老年人口 8千400人  
就業人口 1万900人  
就業人口比率 58・2%

将来像を実現するため、6つの基本方針に沿って施策を体系化し、計23の施策の柱が設けられています。

## 議員提出議案

今定例会には、1件の発議案が提出され、原案のとおり可決しました。

◇トンネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める意見書

■提出者 辻 武美議員 他7名

(意見書要旨)

政府は発注者及び施工者に対する適切な指導を行うとともに、次の事項を含めたトンネルじん肺の抜本的な対策を早急に講じるよう強く要望する。

- ①トンネル建設工事において、定期的な粉じん測定及び測定結果の評価を義務づけること。
- ②トンネル建設工事において、坑内労働者が粉じん暴露される時間を短縮・規制すること。
- ③公共工事によって発生するトンネルじん肺被害者の早期救済を図るため「トンネルじん肺補償基金制度」を早急に創設すること。

(全員賛成)

## 意見書の送付

今定例会で可決した意見書は、内閣総理大臣、厚生労働、農林水産、法務、国土交通各大臣、防衛施設庁長官、内閣官房長官、衆議院、参議院各議長宛てに送付しました。



# 今春開校の統合中学校が完成

プールに映る西校舎棟、円形の図書室・美術室

## 次代を担う中学生に 最良の教育施設を

今春開校に向けて、工事が着々と進められていた統合中学校の校舎棟が完成しました。

12月4日、定例会初日の本会議後、議会では新しい校舎を視察しました。

鉄筋コンクリート造り3階建て、広さ延べ9千643平方メートル。

数学と英語では各3室、国語、社会、理科では各2室、教諭用の教科準備室も設けるなど、教科教室併用の総合型の学校運営方式とし、更にはランチルームやふれあいホールも設け、生徒は授業ごとに教室を移動するシステムです。



中央校舎の3階屋上 (ウッドデッキと植栽スペース)



明るく清潔感あふれる図書室



多目的な用途に使われるふれあいホール (172席)



体育館2階より南校舎2階への渡り廊下

# 決算特別委員会

## 決算審査報告

### 不能欠損とならないための対策は

**問** 町税に不能欠損額及び収入未済額があるが、不能欠損とならないための対策は。

**答** 固定資産税については、業績悪化となり営業していない一部業種もあり、年々かささんでいる。差押え等を行っているが、金融機関等の抵当権が優先される場合が多く、なかなか町へは回ってこない。

督促状、催告書等を発送しており、高額滞納者には分納を勧めている。また、各課との連携を図り、補助金、借入金の申請があつたときなど連

絡してもらい、少しでも納税に努めてもらっている。

**問** 収入未済額のうち1年後不能欠損になるのはどれくらいか。

**答** 1件ずつ内容を審査し、所在不明、死亡、財産が無く差押えができない等調査して金額を決めるため、今の段階でどれだけ不能欠損になるかの把握は困難である。

**問** 早期の回収に努めて、回収不能者をできるだけ防ぐよう要望する。

**答** 厳しく対処していく。

平成17年度（9月～3月）の決算認定では、11月16日と17日の2日間にわたって決算特別委員会が開かれました。一般会計と8特別会計、2事業会計の歳入歳出の決算について審査しました。町税の滞納対策やそれぞれの施策の成果に、活発な質疑が交わされました。特別委員会での審査の中から、主な質疑内容を報告します。

17年度（9月～3月）決算の状況（※1万円未満は切捨て）

会計別	歳入	歳出	差引残額	
一般会計	118億3,724万円	113億5,198万円	4億8,526万円	
特別会計	国民健康保険	17億4,812万円	17億3,726万円	1,086万円
	老人保健	20億3,258万円	20億3,257万円	1万円
	農業集落排水	5億7,634万円	5億7,229万円	405万円
	公共下水道	11億1,949万円	11億1,760万円	189万円
	地域し尿処理	1億6,302万円	1億6,156万円	146万円
	介護保険事業勘定	14億8,862万円	14億3,345万円	5,517万円
	介護サービス事業勘定	526万円	479万円	47万円
	診療所事業	3,496万円	3,392万円	104万円
	簡易水道	1,530万円	1,528万円	2万円
	水道	収益的収支(税抜)	4億5,998万円	3億6,271万円
	資本的収支(税込)	1億3,534万円	3億9,256万円	△2億5,722万円
病院	収益的収支(税抜)	9億14万円	9億206万円	△192万円
	資本的収支(税込)	0	5,948万円	△5,948万円

### 今後、町の借金は

**問** 今後、町の借金は増えるのか。

**答** 今後、合併特例債、下水道事業が行われており増えることが予想されるが、なるべく交付税措置のある有利なものを借りる。

## 更なる町民福祉の

## 向上を目指して

### いこいの村の修繕は金額を決めるべき

**問** いこいの村の施設改修については、1千万円以内の工事はいこいの村が行い、1千万円以上であれば町が行うのではなかったか。

**答** 消耗品に近いものなら会社が負担するのは当然だが、町有施設であり、機器、施設に関しては所有者である町が行う。

**問** いくらまでなら町が行うか決めていないのか。金額を決めるべきである。

**答** 1千万円以内の工事は町と協議して実施することになっている。今回の改修は協議して、財源は基金を利用した。

### コミュニティバス運行状況は

**問** 志賀町のコミュニティバスはマイクロバスや小型バスを利用しているが、その運行状況は。



**答** 8コースを6台のバスで運行している。2台は町貸与のバス、4台は民間のバスである。

年間利用人数は、7万4千821人、1日平均207人程度の方に利用されている。

**問** だいたいの乗り物は6割乗れば、採算があつといわれているが、1台あたりの利用者は。

**答** 1運行あたり、10人弱である。

### 医師の充足率は

**問** 医師の充足率についてはどのくらいか。

**答** 昨年の県の立ち入り検査では、0.9人ほど足りない状況である。医師の確保については、大

**問** 後発医薬品(ジェネリック)について、富来病院ではどうか。

**答** 現在、3品目について使用しているが、これは医師の判断となるため、院長と協議しているところである。

ジェネリックについては、単価が低いのも事実であり、周辺自治体病院の状況等を見ながら協議したい。

### 戸坂 忠寸計 決算特別委員長のコメント

一般会計をはじめ、特別会計、企業会計を含め、約324億円の起債残高があり、經常収支比率は98.9%となっており、財政構造の硬直化が懸念される。

今後、地方交付税をはじめ、国庫補助金等の見直しが進められる中で、一層慎重な財政運営が求められる。

様々な公共施設の管理運営、志賀地域における保育園・小学校の統廃合など当町の課題も山積している。そのような中ではあるが、町の将来を見据えた健全財政の堅持を念頭に、合理的かつ効果的な事業の執行に努めてもらいたい。

## 総務

議会の3つの常任委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。12月定例会開会中の主な審議内容等を報告します。

### 虚偽の答弁自体 指名停止の条件となるか

談合事件の指名停止について、逮捕された2業者を15カ月の指名停止とする。平成17年10月5日の事情聴取に際して虚偽の答弁をし、町の指名停止に関する要綱の悪質な事由に該当する。

**問** 虚偽の答弁自体指名停止の条件となるのか。

**答** 要綱では逮捕された場合は12カ月になり、今回は町が行った事情聴取に虚偽の説明をしたとして、要綱に定める極めて悪質な事由に該当し、3カ月を上乗せした。



談合を報じる新聞

## 教育民生

### 学童保育は高学年の受け入れをできないか



安心して子どもを預けられる学童保育の要望は増加している

**問** 学童保育の受け入れについて、高学年の受け入れをできないか。

野に入れて、効果的な施策をしてもらいたい。

**答** 県内市町の実態調査をするともに、高学年の要望について調査し、堀松保育園等の利活用を視野に入れて、学童保育を充実したものにしたい。

**答** 用途変更できるものは、必要に応じ、行政財産から普通財産へ変更を行っており、利活用等の検討も行っている。学校施設を普通財産にすることは困難な面もあり、今後、検討していきたい。

**問** 空き校舎となった学校施設を、そのまま遊ばせているのはもったいない。民間等へ貸すことも視

民間等へ貸すことも視

## 産業建設

### 富来地域での 公営住宅の構想は

**問** 定住促進住宅造成事業について、坪単価にしてどれくらいを見込んでいるのか。

**答** できるだけ安価で求めやすいものを提供したい。単価はまだ決めていない。

**問** 地域分散型の宅地はどうか。

**答** Uターン、Iターンで若者に町外から入ってもらうことを主眼にしており、需要を検討して必要であれば考えたい。

**問** 町政懇談会席上、富来地域で公営住宅を設ける構想があるという答えがあったが、具体的な考えはあるのか。

**答** 計画としては、領家地内、地頭町地内の老朽化した住宅を政策空家とし、順次取り壊す。長期計画では平成22・23年度に富来地域での住宅整備を計画しているが、そのときの状況によって判断する。



若者の定住促進を図るため、安価な土地の提供は重要な施策である。(写真は昨年行われた新社会人歓迎会の様子)

### 原子力発電所対策 (11月10日) 特別委員会レポート

## 北陸電力は 信頼回復に努めよ

### 相次ぐ人的ミスに 厳しい意見

委員会では、11月10日、志賀原子力発電所2号機の低圧タービンの羽根損傷の原因と対策及び設備の総点検について、北陸電力及び原子力安全・保安院から説明を受けました。

点検作業中に判明した主蒸気止め弁の製造時に洗浄に使用した際の粒状金属の残留、ドレン弁内部よりマーキングペンの発見・回収、1号機において作業員が持ち込んだ記録用紙が誤って発電機コレクタリング冷却ファンに吸い込まれ、点検のため原子炉を停止したなど、相次ぐ人的ミスに、委員からは、厳しい意見や品質管理の徹底、マニュアルに沿った検査の要望がありました。

### 第2回 (10月23日)

## 臨時会

第2回臨時会では、水道施設整備事業評価委員会設置条例制定案と財産の取得2件について審議され、いずれも全会一致で可決しました。

### ◇水道施設整備事業評価委員会設置条例

平成19年度に予定している福浦港和光台地区の水道未普及地域解消事業において、国庫補助金要望に係る第三者からの事前評価が必要であるため。

### ◇財産の取得

・町立統合中学校校舎棟に係る備品購入 7千66万円、アンチ株。  
・町立統合中学校体育館に係る備品購入 997万円、若松の家具 若松隆。



子育て支援事業は、少子化対策、定住人口を増やすうえで重要である。(写真は児童館の家族そろってクッキング)

## 来年度予算の 重点課題は何か

富澤 軒康 議員

**問** 来年度より志賀原子力発電所2号機の固定資産税の見込みがあるが、いえ厳しい状況であるが、その中で19年度における重点課題項目は何か。



**答** 新町まちづくり計画に基づく各種施策を展開する。

具体的には、情報格差を是正するCATV事業や統合中学校屋外運動場整備、定住促進住宅造成、富来地域でのコミュニティバスの運行、防災拠点施設整備事業など合併のメリットを町民に享受していたることを最優先に考えて予算編成を行う。子育て支援事業についても、少子化対策や定住人口を増やすうえで重要な事業と認識しており、予算編成の中でどのような方法がよりよい方法か検討したい。

少子高齢化に対するさらなる対策、特に子育て応援プラン、子育て支援策に力を入れていただきたい。

## 合併のメリットを町民に享受していただく事業を最優先に行う

【答弁：細川町長】

**問** 本町の行財政改革の取り組み方はどのようなものか。

**答** 町では、行政改革大綱及びこれを実践するための計画である集中改革プラン、定員適正化計画を策定し、12月6日に公表した。今後はこの大綱プラン等に基づき、行財政改革を実践したい。

**問** 来年度予算編成に伴う経常経費削減の具体策について伺う。

**答** 予算査定で厳しく対応したい。  
具体的には、賃金、旅費、需用費、委託料などの物件費を極力圧縮して、経常経費の削減に取り組む。

## 合併から現在までの職員研修とその成果を問う

**問** 職員の資質向上等を目的に研修の場を与えるべきと昨年の定例会で提

案した。今年度、積極的に対応していると思うが合併して14カ月経ち、今までの研修内容とその成果を問う。

## 今後も職員の資質の向上を図りたい

【答弁：細川町長】

**答** 今年度、4月から県

地方課へ1名、自治大学へ1カ月間、1名派遣しているほか、市町村アカデミーなどの専門研修に8名、市町村職員研修所の研修に延べ72名の職員を派遣している。  
このほか、接遇マネー、法制執務、勤務評価者研修、普通救命士講習など、多くの職員を対象に外部講師を招いて実施している。  
今後多くの職員に公平に研修の機会を与え、職員の資質の向上を図りたい。

## 富来地域のコミュニティバス運行計画の進捗状況は

**問** 富来地域におけるコミュニティバスの具体的な運行計画について現在の進捗状況は。

## 目標として10月から試験運行を開始したい

【答弁：細川町長】

**答** 現在、来年度中の運行開始を目指し、石川運輸支局と協議しながら検討を進めている。  
今後は地域の道路事情などを勘案しながら、運行ルートやバス停の設定など具体的な運行計画の検討に取り組む。  
現段階の目標として、平成19年10月から試験運行を開始したいと考えている。

# 町政を問う!

# いっばん

# 質問

## 6 議員が登壇

12月定例会の一般質問は12月15日に行われ、6人の議員が町政の当面する課題について考えをただしました。その主な質問・答弁の要旨を掲載します。

### 〈一般質問の会議録を全文公開〉

志賀町ホームページ内の議会情報コーナーでは、本会議の内容を記録した「会議録」を全文公開しています。もっと、詳しく内容を知りたい方は、下記アドレスにアクセスした後、議会情報から閲覧できます。ぜひ、ご覧になってください。

HPアドレス  
<http://www.town.shika.lg.jp>



### 議員の一言二言

#### 新しい年に向けて

新志賀町として2回目の年の始めになるが、昨年は3月に志賀原発2号機が営業運転を開始し、町として大きな節目の年だったかと思う。  
しかし、運転直後に耐震安全性を理由とした判決、タービン羽根損傷による運転停止、相次ぐ人的ミスなど安全性が課題

となっている。電源立地町として、町活性化に役立つ施設となるよう安全確保に万全を期してほしいと思う。  
さて、12月定例会では、今後の10年間のまちづくりを想定した町の基本構想となる「第一次志賀町総合計画」が策定された。サブテーマは「私たちが

主役の新志賀町物語」である。  
10年、20年後の志賀町が安心して健康に暮らし続けられる町であるためには、行政だけに頼らず、チームどおり、私たち町民一人ひとりがまちづくりを担う主体者としての自覚が必要である。  
町は自分達で守り、明るく元気な町にしたいと思う。  
(桜井 俊一)

## 志賀原発2号機の営業運転停止は、 税込どの程度影響するのか

越後 敏明 議員



2号機の運転を停止している志賀原子力発電所

**問** 今春より志賀原子力発電所2号機の営業運転停止が続いているが、収面での影響はどの程度あるのか。また、来年度に見込まれる大型固定資産税の額はどれだけ見込んでいるのか。

**17年度の45%程度と見込んでおり、影響は大きい**

【答弁：細川町長】

し、45%程度と、影響は大きいと見込んでいる。志賀原子力発電所1号機及び2号機による固定資産税は、土地、家屋、償却資産を含め、総額51億円程度を見込んでいる。このうち、大規模償却資産に係る部分は約46億円が見込まれ、1号機に係る税収は約7億円、2号機に係る税収は約39億円となる。

**問** 合併協定に明記されている電源立地に係る旧志賀町限定の地域振興金はどのような措置がとられるのか。

**答** 合併協定項目の中にあるとおり、総額41億円を基金として積み立てる。10年間で相当額を積み立てる計画であるが、国の三位一体改革、普通交付税の見直しなどで当時の財政環境が変化したため、歳入の減少が見込まれ、積み立てについては非常に厳しい見通しとなった。

積み立て総額や基金からの事業への振替など、今後の状況を見据えながら、議会と協議しながら積み立てたい。

**問** 自治振興基金の初年度の積み立て額と積み立て計画について聞く。

**答** 自治振興基金については、41億円の内数として積み立てを考慮しており、額は検討中である。

## 高齢者自立支援ケアハウス施設の設置 と入所者への町の対応は

**問** 介護保険適用外を対象にした身体機能低下者、虚弱者、わけても同居親族のいない高齢者の自立支援へ向けてケアハウスの設置、そして入所者への助成は急務かと思うが町としての対応を問う。

**答** 現在、当町には富来地域に社会福祉法人が設置した定員30人のケアハウスがあるが、入所者の費用については収入に応じて定められており、これに対する助成は考えていない。

## 生活支援ハウスの建設を平成26年度に予定している

【答弁：細川町長】

町としては、ある程度自立しているが、独り暮らしに不安を感じている高齢者の方には、ケアハウスよりも低い費用で利用できることが可能な生活支援ハウスが適当であると考えており、市町村計画の中で、平成26年度に建設を予定している。

## 原発2号機の運転再開を認めるべきではないと思うが、町長の考えは。

**問** 志賀原発2号機のタービン羽根に応急処置を施して、来年5月には運転再開をしたいと北陸電力は公表している。この間の北陸電力の対応、あるいは度重なる人員ミスの発覚で町民も電力の監理体制能力に大きな不安を抱いているのではないか。万が一運転再開を認めるとしても、タービンの設計のやり直し、実証試験等の実績を見てから運転再開の可否を判断しても遅くないと思うが、町長はどう考えるか。

きな不安を抱いているのではない。万が一運転再開を認めるとしても、タービンの設計のやり直し、実証試験等の実績を見てから運転再開の可否を判断しても遅くないと思うが、町長はどう考えるか。

## 障害者並びに家族等の負担軽減措置は考えているのか

堂下 健一 議員



**問** 2006年4月より障害者自立支援法が施行された。この法律は、「障害者が普通に地域で暮せるように」「もっと障害者が働ける社会に」等を趣旨としている。

だが、現実には障害者、家族の負担増や働いている施設から利用料金を取られる、あるいは施設においては維持運営が難しくなるといった状況が出てきている。そこで、町として障害者の置かれている実態を把握しているのか。また、障害者の負担軽減策ならびに作業所への助成等は考えているのか。

## 新たな視点で価値を見出し模索していく必要がある

【答弁：細川町長】

**答** 現在、町では障害者福祉計画を策定中であり、負担金の軽減を含めて障害者が地域の中で自立して生活できるように施策を取りまとめた。



今年4月からはNPO法人に移行し、新たに地域活動支援センターとして運営される予定の志賀町福祉作業所



万が一に備え、実施される石川県原子力防災訓練

**答** 県の原子力環境安全協議会においても「大型タービンの使用実績のない整流板を設置しても問題はなにか」と問いただけであり、当面は国の審査状況を見守りたい。



地域に根ざした学校給食を通じた食育の推進が図られています。(写真は堀松小学校での学校給食試食会)

## 食育推進をどのような形で取り組んでいくのか

寺岡 真貴子 議員



**食育基本法、町地産地消推進計画を基に進める**  
【答弁：細川町長】

**【答】** 食育基本法や本町の地産地消推進計画を基に進める。教育委員会・子育て支援課・JAと連携し、農業体験学習や親子料理教室等、小学生・保育園児を対象として「食料・農業・農村」の理解と学習を推進する。

**【問】** 早寝・早起き・朝ごはん運動の推進は全国的に広がっている。朝食の欠食率や、給食の残食率等、子供たちの食はどのような状況か。

**【答】** 「早寝早起き朝ごはん」は今年度本町教育委員会の重点施策の1つである。各校において定期的に調査しており、小学校では100%近くが食べてきている。中学校では、各校3名から5名の欠食者。学校給食の残食率は、主食・副食ともに約10%前後、1日100kgである。

## いじめに対してどのような対策をとっているのか

橋 照茂 議員



**【問】** 当町のいじめと不登校の実態はどのようなになっているか。また、いじめがあるのではこの情報をつかんだ場合には、どのような対策をしているのか。



いじめ問題は解決と予防に向けて全力で取り組んでほしい。(写真:みんな仲良しだよ。学童保育の児童達)

## 解決と予防に向けて全力を挙げて取り組む。

【答弁：青山教育長】

**【答】** 9月から11月にかけ、小学校3件、中学校で2件報告されている。内容は仲間はずれ、冷やかしからいなど言葉によるもの、ズックなどの物を隠す等のいじめである。

早期解決に向けて対策は、いじめられている子供の心のケアと全面的なバックアップの実施、加害者への強い指導、いじめは絶対に許される行為でないとの認識を全ての子供たちに指導を進めていくことの3点である。

長期的な面では、予防の観点で一人ひとりの観察、子供たちが相談しやすい雰囲気づくり、子供たちが楽しく学べるよう授業の充実と生徒指導体制の強化などである。

**【問】** 子供たちにふるさと豊かさを教えるためにも、より一層地元食材の活用を願う。学校給食での地産地消の状況は。

**【答】** 現在、JA志賀から大根・甘藷・ねぎ・柿、富来実験農場からキャベツ・人参、富来田中農林からはキウイを給食に提供している。今後もJAの協力のもと、年間を通して給食に取り入れたい水産物は、富来産のふくらぎを提供。水産物は、安定供給できるか等課題もあるが、今後拡大していきたい。

**【問】** アレルギーの子供たちに給食で事故の無いよう十分な対応を望む。給食の代用食や除去食の対応の状況は。

**【答】** 現在、小学校7名、中学校で1名アレルギーの児童があり、それぞれのアレルギー食品を除いた給食を作り提供している。今後も、保護者から

解決と予防に向けて全力で取り組む。

**【問】** 不登校児童にはどのような対策をしているのか。

**【答】** 不登校については、小学校で3名、中学校で6名の児童・生徒がいる。

## 斎場の充実について新たな施設の計画を検討せよ

**【問】** 富来地域の区の管理する斎場、広域圏志賀斎場の老朽化に伴い、町の

## 町単独でなく、羽咋郡市広域行政の中で進めたい

【答弁：細川町長】

**【答】** 新たな施設計画の検討については、羽咋郡市広域圏の長期計画の中で、羽咋斎場と志賀斎場を合併した施設というものを念頭において、平成22年度以降に基本構想、基本設計を行う予定だが、今の段階では具体的には施

設の場所、合併した一つの施設でよいのかなどの検討に入るまでは少し時間が必要である。町単独でなく、羽咋郡市1市2町の広域行政の中で進めていきたい。

の申し出、医師の診断・証明書等を参考にしながら、対応していきたい。

**【問】** 食育推進に向け、栄養教諭配置を望む。今後の見通しは。

**【答】** 来年度、県では10名の栄養教諭が配置されるようだ。食育の重要性から、今後栄養教諭の配置について県に対し要望していきたい。

## コミュニティバスの速やかな導入を望む。計画策定の現在の状況は

**【問】** 既存運行区域・拡充区域それぞれから意見・要望があると聞く。

例えば、志賀地域から富来病院へのルートや富来・志賀地域を結ぶ海側周りのルート整備など、合併効果を高めることに繋がる。住民の声を聞く

仕組みを整えるべきだ。運行計画策定はどのような体制で行われるのか。

## 住民が等しくサービスを楽しむことができるよう効率的な運行形態を目指す

【答弁：細川町長】

**【答】** 志賀地域から富来病院へのルートや富来地域と志賀地域を結ぶ海側周りのルート整備については、路線バス事業者や関係機関との調整・連携を図りながら、住民が等しくサービスを受けることができるよう効率的な運行形態を目指す。運行協議会は、警察・陸運関係、バス事業者、地元の有識者・代表者での構成を考えている。



# 議会広報特別委員会 視察レポート

## 親しまれる

## 議会広報をめざして

11月13、14日にわたり、愛知県美和町、大口町両議会へ、議会広報誌の編集、委員会活動などについて、視察研修させていただきました。



愛知県美和町で視察研修する広報委員

両町とも全国議会広報コンクールでは、上位入賞の常連であり、積極的に議会だよりの作成に取り組んでいます。

「議会だよりのみわ」は、平成13年9月創刊の際に全国コンクール入選の約20町から広報を取り寄せ、始めから全国で賞を狙えるような広報づくりに取り組んだとのこと。編集方針は、まず議会の活動状況を町民に分かりやすく伝える。一方の町民がちな議会広報を町民からの提言を取り入れながら、親しみのあるものにしていく。記事の掲載にあたっては、公平かつ中立な立場で客観的な編集を行うとのことでした。



愛知県大口町役場での研修模様

また、新聞社へ研修に行き、社員から編集のポイントについて学んでいると聞いて、大変感心しました。

■愛知県美和町  
名古屋市西12kmに位置し、人口2万4千人、面積9・92キロm<sup>2</sup>と人口密度の高い町です。

最近、議会だよりがA4判からタブロイド判へと変更となりましたが、ケーブルテレビによる議会中継開始に伴い、議会だよりが補完的要素の意味合いが強くなったことが要因にあるそうです。

また、新聞社へ研修に行き、社員から編集のポイントについて学んでいると聞いて、大変感心しました。

■愛知県大口町

大口町は面積13・58キロm<sup>2</sup>、人口は約2万1千人。名古屋市まで直線で18kmの町です。

美和町と同じく、最近の全国コンクールでは、優秀賞、入選と当議会よりも上位にあります。

昭和47年創刊の「議会だよりのみわ」は、平成14年から従来の表紙を思い切って刷新し、記事も読者に分かりやすい言葉で親しみのある広報誌づくりに取り組んでいるとのこと。

掲載の独自性として、一般質問の議員原稿の提出は質問者自ら1題あたり150文字以内、2題にまとめるという仕組みで、余白20%を目標にしています。



また、一般質問の追跡記事で、1年前の質問に対して、現状での取り組み状況を進展が有ろうが無かろうが、その状況を掲載。広報委員会の一筆啓上コーナーでの辛口な文章は、行政側にはまったく見せないで印刷するので、町長も何を書かれても諦めているとの話も聞きました。

今回、議会広報に関して2町を視察しましたが、議会だよりが町民とのパイプ役として重要な役割を果たすものとの認識で、議会をあげて親しまれる広報づくりに取り組む姿勢が感じられました。

## 北陸電力に対して けじめを求めているかどうか

南 政夫 議員



問 一連の人的ミスについて、北陸電力の幹部が責任をとって、けじめをつけるよう、町から申し入れをすればどうか。

一層厳しく指導を続ける

【答弁：細川町長】



原子力災害時における防災関係機関の協力体制の強化と、住民の原子力防災に対する理解の促進を図ることを目的に実施される原子力防災訓練

答 現状の公共交通体系が崩れることが危惧される。また、何台かタクシーを借り切るとしても、現状のバス利用人員に対応できない。

公共交通体系や費用対効果という点で難しい

【答弁：細川町長】

問 現行のコミュニティバスの委託料で、タクシー利用の助成制度に振り替えてできないか。

コミュニティバスの運行形態をタクシーに替えられないか

答 町当局として、コメントする立場にないと思うが、今後、一層厳しい姿勢で安全運転に当たるよう指導を続けていきたい。

## 各地域に根ざした小学校の再編を 考えられないか

問 新志賀町全体を見て、各地域に根ざした小規模な範囲での再編はどうか。廃校となる校舎の数も減るし、何より地域と学校が緊密な関係で繋がっていく。そのことがいじめの防止にもなると思うがどうか。

市町村で通学区制度の弾力的運用を図り、小規模特認校を設ける

【答弁：青山教育長】

答 自然環境に恵まれた小規模な小中学校を対象に、心身の健康増進を図り、豊かな人間性を培いたいという保護者の希望のある場合には、通学区況や生活指導面など教育的な配慮のうえ、市町村で通学区制度の弾力的運用を図り、小規模特認校を設定できる。

問 津幡町の河合谷小学校は町の特認校と聞くが、どういった学校か。

## 第18回志賀町

# 「富来を描く美術展」 入賞者に聞く!

芸術文化の振興を願い、志賀町の美しい自然や生活、産業や夢などを描いていただく公募展を毎年開催しています。昨年の11月には第18回の審査が行われ、次の方が、大賞、石川県知事賞に選ばれましたので、作者の感想を交え、ご紹介させていただきます。



安田由紀子さん(金沢市)

## 大賞

作品名「福浦陽光」



陽光を受け、真白に映える船が静かに出航を待っている。一瞬の輝きと波紋の面白さに感動して描きました。この度の受賞を励みに今後一層精進して行きたいと思えます。ありがとうございます。



水越八寿子さん(輪島市)

## 石川県知事賞

作品名「さくら貝の詩」



増穂浦の海の美しさと砂浜にあるたくさん貝がらに感動しました。その想いを描き、富来展に出品することができとても嬉しいです。今回賞をいただくことができ、絵を続ける励みになりました。

## 傍聴におこしください

議会傍聴は、議会だよりでは伝えきれない議会の様子を見聞きできます。傍聴の際は議場入り口、または議会事務局で住所・氏名などを記入します。団体で希望される場合は事務局までご連絡ください。

## おわびと訂正

11月1日発行5号14頁「富来を描く美術展」鳴瀬賞受賞者の住所に誤りがありましたので、訂正しておわびします。

誤 小堀 浩さん(七尾市)  
正 小堀 浩さん

(志賀町里本江)

## 寄付行為の禁止

議員は選挙区内の方に対し、入学祝いや結婚祝い等お金や品物を贈ることを原則禁止されています。

ご理解をお願いします。